



東京都正札シール印刷協同組合
理事長 田中 浩一

あけましておめでとうございます

新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は、当組合に対しまして格別なるご支援、ご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

去年は、2月の韓国平昌冬季オリンピック大会で日本は冬季大会としては史上最多となる13個のメダルを獲得する、という明るい話題もありましたが、「災害級の猛暑」、台風や豪雨、地震など相次ぐ自然災害が国民生活、企業経営に打撃を与えました。

今年、天皇陛下退位、新天皇即位・改元をはじめ皇位継承のための一連の儀式が行われます。また、春の統一地方選、夏の参院選、9月のラグビーW杯日本大会開幕、そして10月には消費増税が予定されており、我が国にとってきわめて重要な1年となりそうです。とくに消費増税については前回平成26年の増税(5%から8%)の際には、個人消費が落ち込み、我々の業界、組合員が「苦戦」を強いられたことが思い出されます。また、昨年末に大手製紙メーカー各社が印刷・情報用紙の「価格修正・改定」を発表しましたが、当業界にもそれが波及しないか、大変懸念されるところであります。

皇位継承に伴い今年のGWは10連休となりますが、観光業界からは需要増への大きな期待がある一方で、「運輸・小売り」業界においては人手不足などが懸念され企業経営にとっていろいろな準備が求められるでしょう。さらに、4月1日からは「働き方改革関連法」が順次施行されますが、「年次有給休暇の確実な取得」に関しては中小企業にも猶予期間はなく、即施行されるなど、大きな影響がありそうです。

こうした厳しい中にある組合員の皆様方に対しまして、労務・経営・技術などの情報提供、勉強会・セミナー等の開催などを通して、お役に立ちたいと思います。しかしながら、最近の様子を見ますと、組合事業に参加しない、できない、という組合員が多く、支部会などは率直に申し上げて停滞気味であり、事業の内容について議論する必要を感じます。

この5月に開催予定の総会では、役員改選が予定されており、私は3期6年務めました理事長を退任する意向であります。今後一理事として微力ではありますが、これまでの経験を活かし、組合のお役に立ちたいと考えております。

最後になりましたが、「平成最後」と「次の時代」という、この1年の皆様方のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶致します。